Hitachi Koki
POWER TOOLS for PROFESSIONAL

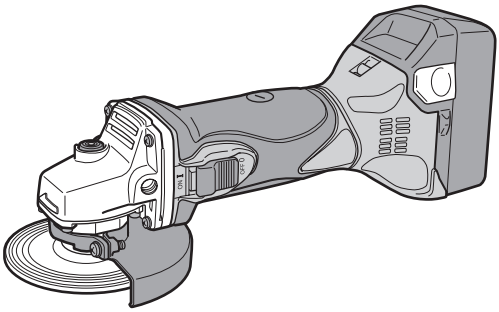
取扱説明書

用途
- ●鉄、青銅、アルミ鋳物などのバリ取りおよび仕上げ、溶接、溶断部の研削、さび落とし
- ●塗装面の下地みがき、さび落とし、塗装落とし
- ●軟鋼材（薄物鉄板、小径丸棒など）の切断
- ●カワラ、タイルなどの切断
- ●カワラ、タイル、石材、コンクリートなどの溝入れおよび研削

日立コードレスディスクグラインダ

18V G 18DSL

このたびは日立コードレスディスクグラインダをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。（NN仕様除く）
リチウムイオン電池をお使いいただくうえで特別な注意が必要です。
詳しくはP7を参照してください。

はじめに

コードレス工具の安全上のご注意 ……1
本製品の使用上のご注意 ……5
リチウムイオン電池の使用上のご注意……7
各部の名称 ……9
仕様 ……10
別売部品 ……11

使い方

ご使用前の準備 ……13
トイシの取付け・取りはずし ……14
電池残量表示について ……15
スイッチについて ……16
充電する ……17
削る ……19
別売部品の取付け方 ……21

その他

保守・点検 ……27
ご修理のときは ……裏表紙

HITACHI

⚠警告、⚠注意、 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ **警告**」、「⚠ **注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、「⚠ **注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 ：**製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

コードレス工具の安全上のご注意

- **火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。**
- **ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。**
- **お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。**

⚠警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損傷を及ぼす恐れがあります。

② 正しく充電してください。

- この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 温度が 0 ℃未満、または温度が 40 ℃を超える場合は、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。また、破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  感電や火災の恐れがあります。

③ 蓄電池の端子間を短絡させないでください。

- 釘袋などに入れると、短絡して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

④ 感電に注意してください。

- ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。
  感電の恐れがあります。

⚠警告

⑤ 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 工具本体・充電器・蓄電池は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。
  暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
  爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。

⑥ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
  切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

⑦ 加工するものをしっかりと固定してください。

- 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
  手で保持するより安全で、両手で工具本体を使用できます。
  固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。

⑧ 次の場合は、工具本体のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。
  工具本体が作動して、けがの原因になります。

⑨ 不意な始動は避けてください。

- スイッチに指を掛けて運ばないでください。
  工具本体が作動して、けがの原因になります。

⑩ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
  事故やけがの原因になります。

⑪ 蓄電池を火中に投入しないでください。

- 破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

⚠注意

① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② 子供を近づけないでください。
- 作業者以外、工具本体や充電器のコードに触れさせないでください。けがの原因になります。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。

③ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
- 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

④ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために、工具本体の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
- モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。

⑤ 作業に合った工具本体を使用してください。
- 小形の工具本体やアタッチメントは、大形の工具本体で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
- 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。

⑥ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。

⑦ 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。

⑧ 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。

⑨ コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。

⚠注意

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
- 充電器のコードは、定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
  感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 充電器に継ぎ(延長)コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

- スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。

⑪ 屋外使用に合った継ぎ(延長)コードを使用してください。

- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ(延長)コードを使用してください。

⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない工具本体は、使用しないでください。異常動作して、けがの原因になります。

⑭ コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。

- サービスマン以外の人は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
- 工具本体が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにお申し付けください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、ディスクグラインダとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

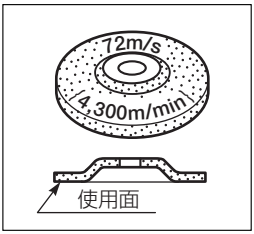
⚠警告

① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
- 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。

② ホイルガードは、必ず取付けて使用してください。
- トイシやダイヤモンドカッターが破壊したとき、けがの原因になります。

③ 使用するトイシ（レジノイドトイシ）は、最高使用周速度 72 m/ｓ｛4,300 m／min｝以上の正規のトイシを取付け、正しい使用面で研削してください。側面や上面では研削しないでください。
- 正規以外のトイシを使用したり、また側面や上面で研削すると、トイシが破壊し、けがの原因になります。（トイシ寸法はP10「仕様」をご参照ください。）

③



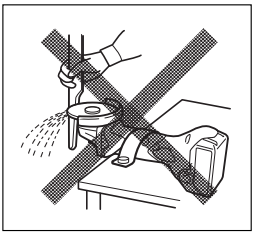
④ トイシにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
- 異常があると、トイシが破壊し、けがの原因になります。

⑤ 使用中は、振り回されないよう本体を確実に保持してください。とくに始動時は気をつけてください。サイドハンドルを付属している場合は、サイドハンドルをしっかりと取付けてください。
- 確実に保持していないと、けがの原因になります。

⑥ 水、研削液などは使用しないでください。
- 乾式用のため、トイシの破壊によるけがや感電の恐れがあります。

⑦ 本体を万力などで保持した使い方はしないでください。
- トイシやダイヤモンドカッターが破壊したとき、けがの原因になります。

⑦

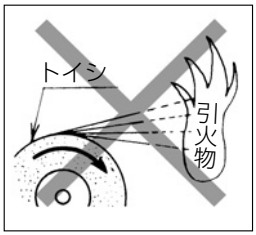


⚠警告

⑧ **使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。**
- けがの原因になります。

⑨ **研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷付きやすいものは安全な場所に遠ざけてください。また、研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。**
- 火災ややけどの原因になります。

⑨



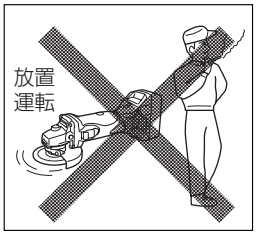
⑩ **トイシを用いて切断作業をする場合は、切断トイシを使用してください。**
- 切断トイシ以外のトイシは、けがの原因になります。

⑪ **切断トイシを使用する場合は、切断トイシ専用の下記の部品を取付けてください。**

ホイルガード（切断トイシ用）
ホイルナット（切断用）
- 切断トイシが破壊したとき、けがの原因になります。

⑫ **回転させたまま、台や床などに放置しないでください。**
- けがの原因になります。

⑫



⑬ **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。**
- そのまま使用していると、けがの原因になります。

⑭ **誤って落としたり、ぶつけたときは、トイシや機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
- 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⑮ **〔事業者の方へ〕トイシの取替え・試運転は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。**

関連法令　労働安全衛生法　第59条
労働安全衛生規則　第36条
安全衛生特別教育規程　第2条

⚠注意

① **工具類（トイシなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。**
- 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。

② **新しいトイシを取付け、はじめてスイッチを入れるときは、トイシの露出部から一時身体を避けてください。**
- トイシが破壊したとき、けがの原因になります。

③ **試運転を励行してください。**
試運転時間は、P 19「⑥試運転を行う」をご参照ください。
- 試運転せずに作業開始すると、思わぬけがの原因になります。

④ **高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。**
また、コードを引っ掛けたりしないでください。
- 材料や工具本体などを落としたとき、事故の原因になります。

⑤ **指定以外の刃物（丸のこ刃、チップソーなど）での切断作業はしないでください。**
- 丸のことしての保護装置がなく、けがの原因になります。

⑥ **精密部品を内蔵していますので、落下等の強い衝撃を加えたり、水にぬらさないでください。**
- 動作不良、誤動作等をおこす原因になります。

⑦ **蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。**

⑧ **蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。**

⑨ **蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。**

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。（NN仕様除く）
リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記 ①、②、③ の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

①電池残量が少なくなると（電池電圧 12 Vまで低下）モーターが停止します。
このときは速やかに充電してください。

② 本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
このときはいったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取除いてください。

③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。このときは、蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日陰などで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに次のページに述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

蓄電池の漏液、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。

① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。

- 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
- 作業中に工具本体にたまった切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
- 蓄電池を使用しないとき切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
- 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品(ねじ、釘など)とは別々にしてください。

② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。

③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。

④ (+)(ー)を逆にして使用しないでください。

⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。

⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。

⑦ 充電の際に所定の充電時間を大幅に超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

⑧ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。

⑨ 蓄電池が漏液したり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。

⑩ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。

⑪ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形その他今までと異なる事に気がついたときは、直ちに使用機器あるいは充電器より取り出して使用しないでください。

⚠注意

① 蓄電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

- 放置すると液により目に障害を与える原因になります。

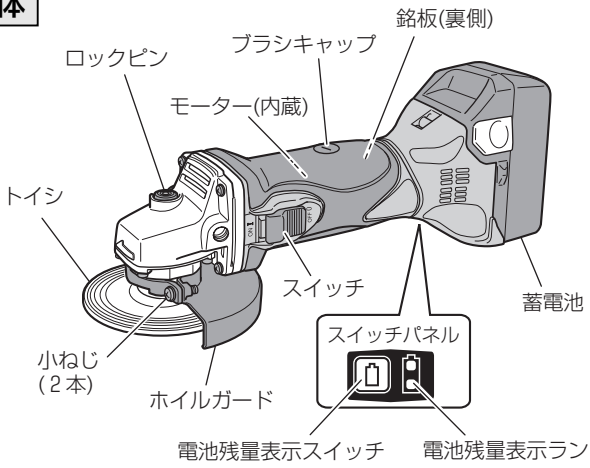
② 蓄電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

- 皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。

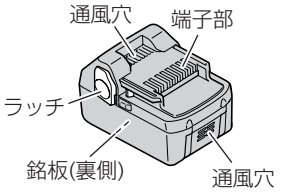
③ お買い上げ後、初めて使用する際、サビや異臭、発熱、その他異常と思われたときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。

各部の名称

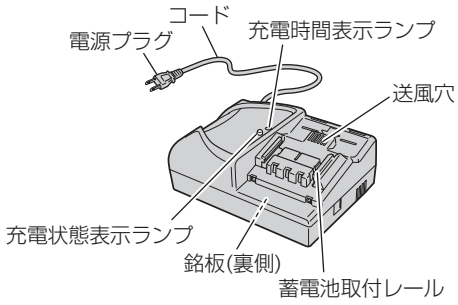
工具本体



蓄電池



充電器



標 準 付 属 品

品名・形名 ＼ 仕様	LSCK	NN
レジノイドトイシ (外径100 mm×厚さ 4 mm×穴径15mm)	1 枚	1 枚
スパナ	1 個	1 個
蓄電池(本体装着) BSL 1830	1 個	―
充電器 UC 18YSL2	1 台	―
収納ケース	1 個	―

仕　様

1．工具本体仕様

形　名		G 18DSL
モ　ー　タ　ー		直流モーター
無負荷回転数〔気温 20℃満充電時〕		9100 min^{-1} {9100 回／分}
トイシ寸法	外　径	100 mm
	厚　さ	レジノイドフレキシブルトイシ　3.5 mm レジノイドトイシ　4 mm、6 mm
	穴　径	15 mm
蓄　電　池		円筒密閉形リチウムイオン電池
電　池　電　圧		18 V
質　量		2.0 kg（BSL 1830 装着時）
電池残量表示ランプ		赤色LED

2．充電器仕様

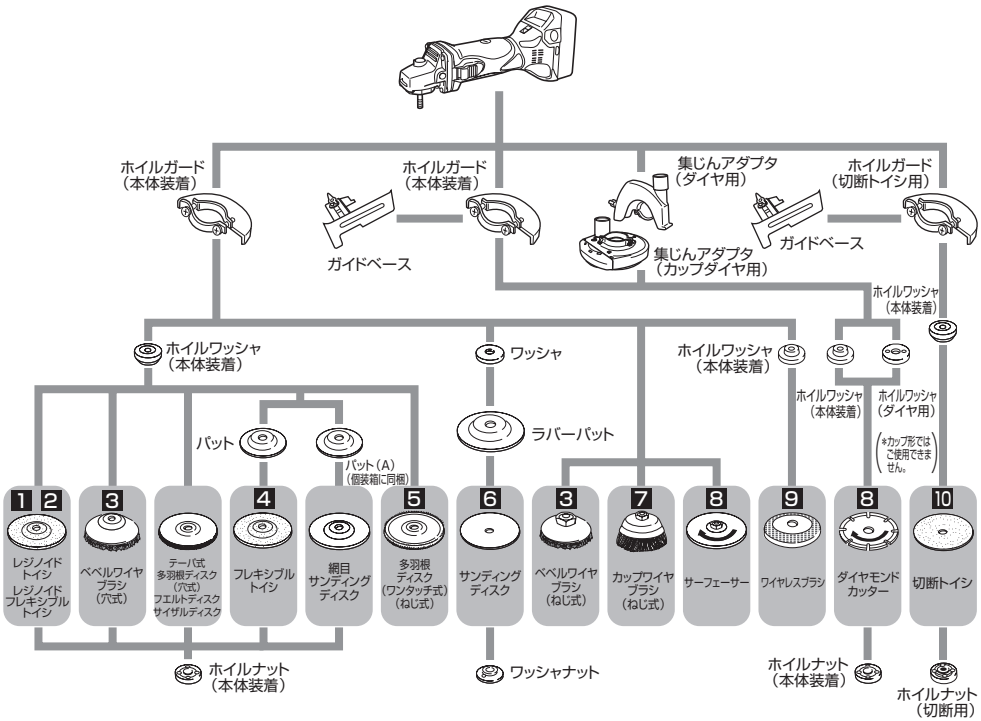
形　名	UC 18YSL2
入　力　電　源	単相交流 50／60Hz 共用　　電圧 100 V
充　電　時　間〔気温 20℃時〕	BSL 1430／BSL 1415／BSL 1830 約 22 分
充　電　電　圧	14.4 V― 18V
充　電　電　流	BSL 1430／BSL 1830 ： 7.5 A BSL 1415 ： 3.5 A
コ　ー　ド	2 心ビニールコード
質　量	0.7 kg
使用温度範囲	0 ℃～ 40 ℃
冷　却	対応（ファン付き）
ブ　ザ　ー　音	あり

3．蓄電池仕様

形　名	BSL 1830
容　量	3.0 Ah {3000 mAh}
冷　却	対応

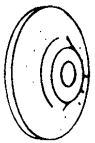
別売部品（別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。）

詳しくは、お買い求めの販売店、または日立工機の全国販売拠点（裏表紙参照）にお問い合わせください。



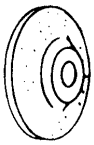
作業に適した先端工具をお選びください。取付け方法は、P 21 ～ 26 をご参照ください。

1 レジノイドトイシ



目づまりが少なく、研削能率は最高。特にステンレスの荒研削には抜群の性能を発揮します。

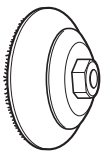
2 レジノイドフレキシブルトイシ



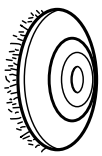
研削時の振動、騒音が低く、研削面への吸い付きが抜群。ステンレス、一般鋼材に材質を選ばず使用でき、効率的な作業ができます。

3 ベベルワイヤブラシ

ねじ式



穴　式



鋳物、構造物、タンク、車体、鉄板、石材およびコンクリートなど表面仕上げ、またはペンキはがしなどに有効です。特に凸凹が激しい面や、隅の部分または溝の底などを仕上げる場合に外周部を使用し、能率を上げることができます。線材破片の飛散が少ない高性能・長寿命タイプです。

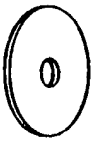
4 フレキシブルトイシ

柔軟性をもったトイシで、作業中の衝撃が少なく、レジノイドトイシによる重研削と、サンディングディスクによる上仕上げの中間仕上げに適し、高能率を発揮します。

5 多羽根ディスク

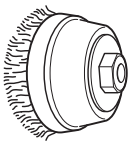
トイシに比べ高能率、長寿命のすぐれたもの。
ジルコニア砥粒なのでステンレス、特殊鋼の研削および重研削作業も可能です。

6 サンディングディスク



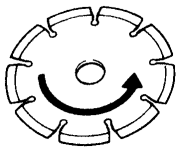
研削量が少なく仕上げ面をきれいにしたいとき、塗装面の下地みがき、さび落し、塗料落しなどに用います。

7 カップワイヤブラシ

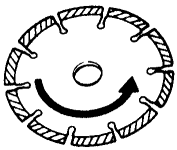


ベベルワイヤブラシと同じ目的に使用されますが、とくに仕上げ面が平らな場合能率的です。線材破片の飛散が少ない高性能・長寿命タイプです。

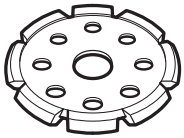
8 ダイヤモンドカッター



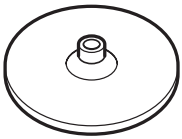
セグメント



波形セグメント



V字形



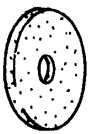
サーフェーサー

カワラ、タイル、石材、コンクリートなどの溝入れ、および研削などに用います。

9 ワイヤレスブラシ

素地を削らず、金属表面の皮膜・ヨゴレ・キズだけをキレイに除去します。

10 切断トイシ



切断トイシは金属用と非金属用の2種類あります。

ご使用前の準備

●作業環境の整備・確認

⚠警告

① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
- 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。

③ **子供を近づけないでください。**
- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

薄い鋼板などを研削する場合には、作業台の状況によっては研削音が鋼板に反響して大きな騒音が出る場合があります。このような場合には鋼板の下にゴムシートを敷くなどして騒音を出さない配慮が必要です。

○騒音防止規制について
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

トイシの取付け・取りはずし

標準付属のレジノイドトイシは次の手順で取付け・取りはずしをしてください。

⚠警告

トイシの取付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を本体からはずしてください。
誤ってスイッチを入れてしまうと、けがの原因になります。

⚠注意

- ホイルナットは、必ず付属のスパナを使って十分に締付けてください。
- ホイルワッシャ（ダイヤ用）（別売部品）を、ホイルナットの代わりに使用しないでください。

取付け

❶ ホイルワッシャ・トイシを取付ける

- スピンドルを上に向け、ホイルワッシャの裏側の小判形凹部をスピンドルの切欠部に合わせてホイルワッシャを取付けます。
- ホイルワッシャの上にトイシの突出部を当てます。

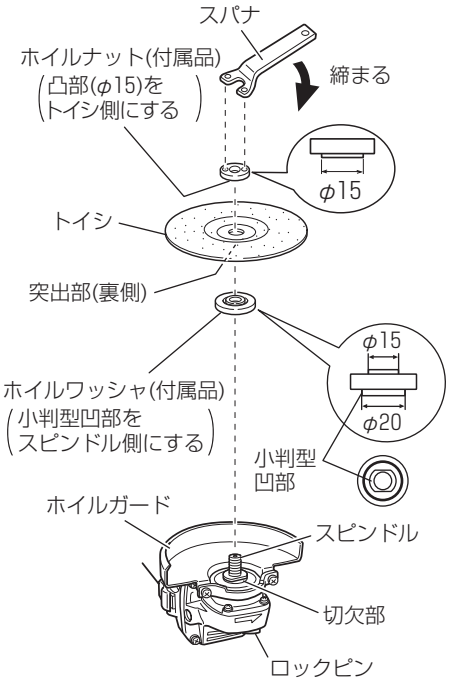
❷ ホイルナットを取付ける

トイシの上からホイルナットの凸部（φ15）をトイシの穴に合わせ、スピンドルに取付けます。

❸ ホイルナットを締付ける

ロックピンを押してスピンドルを固定し、スパナでホイルナットを十分に締付けます。

注 ロックピンを押して離したときに、確実に戻ることを確認してください。



取りはずし

トイシを取りはずす場合は、❶～❸の取付けと逆の手順に行います。

電池残量表示について

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチから指を離すとランプは消灯します。

ランプの点灯状態と電池残量は以下のようになっています。

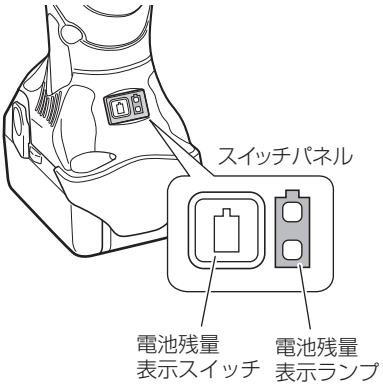
ランプの点灯状態	電 池 残 量
	十分電池残量があります。
	電池残量が半分になっています。
	非常に少なくなっています。早めに充電してください。

電池残量表示は、周囲温度、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

⚠注意

スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。
故障の原因になります。

注 **電池の消耗を少なくするため、残量表示スイッチを押している間のみ、ランプが点灯します。**

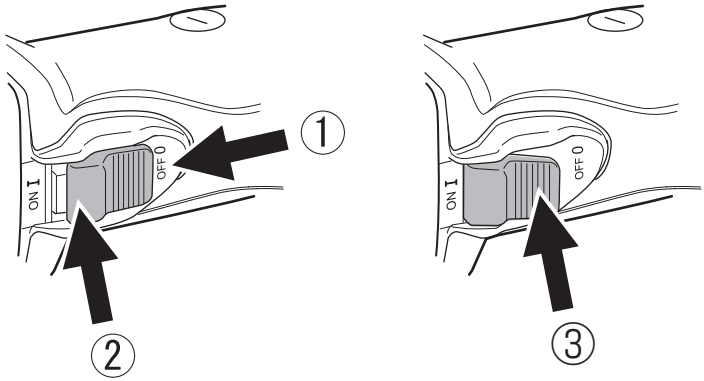


スイッチについて

スイッチは①の方向にスライドさせると入り、はなすと切れます。

①の方向にスライドさせたあと、②の方向に押し込むとスイッチがロックされ連続運転ができます。

ロックを解除し、スイッチを切るときは③の方向にスイッチを押します。



充電する

ご使用の前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、
残量が残り少なくなったときは、次のように充電してください。

1 電源を確認する

この充電器は交流100 V用です。
200 V電源に接続すると、充電器が異常に発熱し、故障します。
また、直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。

2 コンセントを確認する

コンセントががたついていたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。
そのまま使用すると危険です。

3 電源プラグをコンセントにさし込む

充電状態表示ランプが赤の点滅を繰り返します。
(P18「充電ランプの表示について」参照)

4 蓄電池を充電器にさし込む

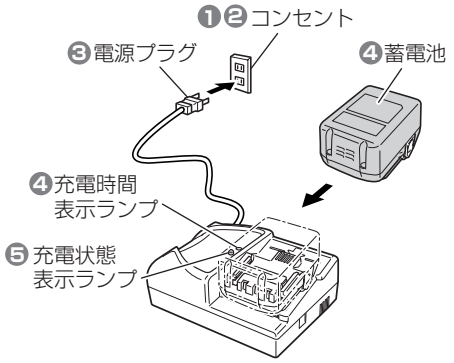
- 蓄電池を右図に示す線が見えるまでしっかりとさし込んでください。
- 充電を開始すると、充電時間表示ランプが赤／橙／緑のいずれかに連続点灯して、充電完了までの時間をお知らせします。

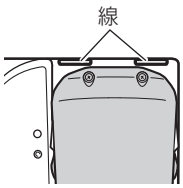
⚠警告

手順 ❶ 、❷ については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

5 充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電状態表示ランプが緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と6秒鳴ってお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。





充電時間：約22分

注 充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。

●充電ランプの表示について

充電器には、充電時間の目安を表示する「充電時間表示ランプ」と充電状態を表示する「充電状態表示ランプ」がついてます。
各ランプの表示内容は以下のようになっています。

ランプ	ランプの表示			表示内容
充電時間表示ランプ（赤/橙/緑）	充電時間 30分	赤点灯	連 続 点 灯	充電完了まで約 30分
	充電時間 20分	橙点灯	連 続 点 灯	充電完了まで約 20分
	充電時間 5分	緑点灯	連 続 点 灯	充電完了まで約 5分
	高温待機	赤点滅	0.3秒点灯／0.3秒消灯	蓄電池の温度が高くて充電できない。（温度が下がると自動的に充電を開始します。）
充電状態表示ランプ（赤/橙/緑）	充電前	赤点滅	0.5秒点灯／0.5秒消灯	電源にさし込んだ状態
	充電完了	緑点灯	連 続 点 灯	
	充電不可	橙の速い点滅	0.1秒点灯／0.1秒消灯	充電器または蓄電池に異常あり

注
- **橙の速い点滅（0.1 秒点灯／0.1 秒消灯）を繰り返し、ブザーが「ピッピッピッ」と約 2 秒鳴るときは、蓄電池の取付け部または蓄電池の端子部に異物が入っていないか確認し、異物が入っていた場合は取り除いてください。**
  異物が入っていない場合は、充電器または蓄電池の異常と考えられますので、充電器と蓄電池の両方を組にして、お買い求めの販売店にご持参ください。
- **一度充電が完了した後、次の充電まで 5 分程度休ませてください。**
  同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。
- **本体を使用した直後の蓄電池は熱くなっていますので、蓄電池が少し冷めてから充電します。**
  すぐ充電すると、蓄電池の寿命を短くします。
- **本体の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのをやめ、充電します。**
  無理に使い続けると、蓄電池が傷み、寿命を短くします。
- **正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきたときは、蓄電池の寿命がつきたものとお考えいただき、新しい蓄電池と交換してください。**
  寿命のつきた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。

●充電時間について

充電器	蓄 電 池	充電時間
UC 18YSL2	BSL 1830（リチウムイオン）	約 22 分

削　る

●鉄、青銅、アルミ鋳物などのバリ取りおよび仕上げ、溶接、溶断部の研削、さび落し
●塗装面の下地みがき、さび落し、塗料落し
●軟鋼材、カワラ、タイル、石材、コンクリートなどの切断、溝入れおよび研削

⚠警告

手順 ❶～❹ については、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いて確認してください。

❶ スイッチが切れていることを確認する

- スイッチはツマミをＯＮ側にスライドすると入り、ＯＦＦ側にスライドすると切れます。
- スイッチがＯＦＦ側になっていることを必ず確認してください。
(P 16「スイッチについて」参照)

❷ ホイルガードを確認する

- ホイルガードはトイシが破壊した場合に使用者を保護するためのものですから、必ず取付けてください。
- ホイルガードは、小ねじ(２本)を少しゆるめることにより任意の角度に動かすことができます。作業に適した角度にセットしてご使用ください。調整後は、小ねじ(２本)を確実に締付けてください。

❸ ロックピンを確認する

ロックピンを押して、はなしたとき確実に戻ることを確認してください。

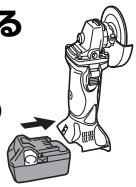
❹ トイシを確認する

- トイシは正規のものか、またヒビや割れがないか調べてください。
- トイシは正規の状態に取付けられ、十分締付けられているか点検してください。

(P14「トイシの取付け･取りはずし」参照)

❺ 蓄電池を取付ける

右図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりとさし込んでください。



⚠注意

- 機体のスイッチを入れるときは、機体の回転部分が加工材などに接触していないことを確認してください。接触していることを知らずにスイッチを入れると、トイシが破壊することがあり、けがの原因になります。
- 新しいトイシを取付け、はじめてスイッチを入れるときは、トイシの露出部から必ず一時身体を避けてください。

❻ 試運転を行う

- トイシにヒビ・割れがあるのを気づかずに作業しますと非常に危険です。
- 作業前には人のいない方向にトイシを向け、必ず試運転を行って異常がないことを確認してください。

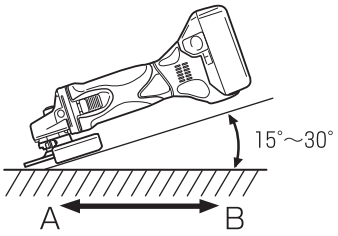
試運転時間は
トイシ交換のとき‥‥‥‥‥３分間以上
その日の作業始めのとき‥‥１分間以上

⚠警告

- 作業中は、必ず保護メガネを使用してください。
- 機体に衝撃をかけるとトイシにヒビが入ったり、割れたりする恐れがあるので、取扱いには十分注意してください。万一機体を誤ってぶつけたり、落としたりしたときは、必ずトイシのヒビ割れや、機体に破損などがないことを十分確認してください。

7 材料にトイシをあてる（参考参照）

- トイシが新しいときは、前（Aの方向）へ押しますとトイシの角が食い込むことがありますから、後ろ（Bの方向）へ引いてご使用ください。
- トイシの全面を材料にあてないで、図のように機体を15°～30°傾けて、トイシの外周部で研削してください。
- 角が消耗しましたら、どちらへ進めても問題ありません。



8 作業を終了する

使用後はスイッチを切って、トイシの回転が止まってから機体を置いてください。回転が止まらぬうちに切粉やごみの多い場所に置きますと、切粉やごみを吸い込むことがあります。機体の寿命、事故の原因となりますのでご注意ください。

⚠注意

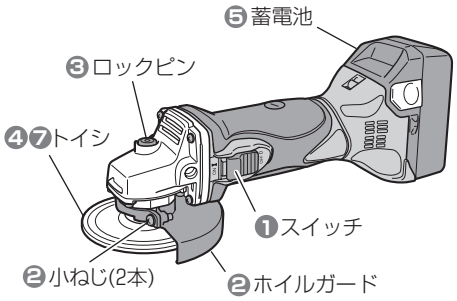
蓄電池は確実に取付けてください。
確実でないと、蓄電池が抜け落ちたりして、けがの原因になります。

注
- モーターが回転中は、ロックピンを押さないでください。またロックピンを押したままでスイッチを入れないでください。
- トイシは材料に強く押し付けないでください。機体自身の重さで研削できますから材料に軽くあてる程度に保持してください。
- 強く押し付けると回転が落ち仕上げ面がきたなくなります。また過負荷になってモーターが故障する原因になります。

参考

付属のトイシ（レジノイドトイシ）は一般鋼材の重研削用に最も適しておりますが、その他の各種の材料にも使用できる用途の広いものです。

なお粒度が粗い方ですから仕上げ面をきれいにするには、機体を軽く持ち上げ気味にしてゆっくりと一定速度で研削しますと、粒度の細かいものと同じように仕上げることができます。



別売部品の取付け方

⚠警告

- **万一の事故を防止するため、別売部品の取付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を本体からはずしてください。**
- **別売部品を使用の場合も必ずホイルガードを取付け、保護メガネを使用してください。**
- **別売部品の項（P 11 、12 ）に記載された外径を超えるものは使用しないでください。**

●サンディングディスクの取付け

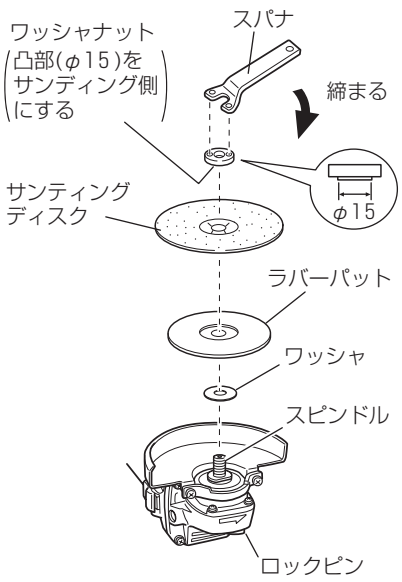
○サンディングディスクをご使用になるときは、ワッシャナット、ラバーパット、ワッシャを一緒にお買い求めください。

注 **付属のトイシ取付け用のホイルワッシャ、ホイルナットは使用しません。**

1 スピンドルにワッシャ、ラバーパット、サンディングディスクの順に取付けます。

2 サンディングディスクの上からワッシャナットの凸部（φ15 ）をサンディングディスク側にして、スピンドルに取付けます。

3 ロックピンを押してスピンドルを固定し、スパナでワッシャナットを十分に締付けます。



●フレキシブルトイシ、網目サンディングディスクの取付け

○フレキシブルトイシ、網目サンディングディスクをご使用になるときは、それぞれ専用のパットを使用します。

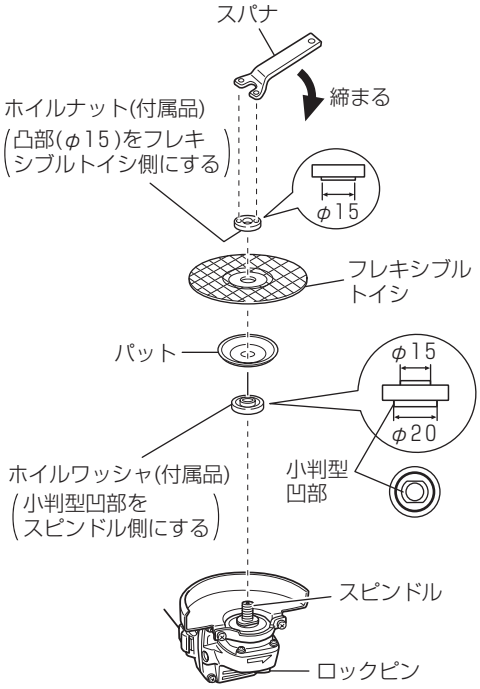
○パットはフレキシブルトイシ、網目サンディングディスクに同梱されております。

注 **付属のトイシ取付け用のホイルワッシャ、ホイルナットを使用します。**

1 スピンドルにホイルワッシャ、パット、フレキシブルトイシの順に取付けます。

2 フレキシブルトイシの上からホイルナットの凸部（φ15）をフレキシブルトイシの穴に合わせて、スピンドルに取付けます。

3 ロックピンを押してスピンドルを固定し、スパナでホイルナットを十分に締付けます。



●ガイドベースの取付け

○切断トイシやダイヤモンドカッターを使用する際、ガイドベースを取付けてご使用になると切り込み深さを一定に保つことができます。

注 **• 切断トイシをご使用になるときは、別売のホイルガード（切断トイシ用）をご使用ください。**

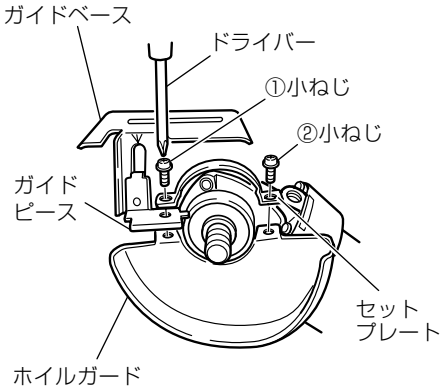
• ちょうねじ、小ねじ（２本）はしっかりと締付けてください。
締付けが不十分な場合、作業中にねじがゆるんでガイドベースが動き、けがの原因になります。

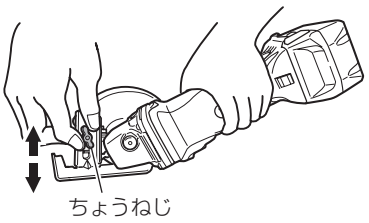
1 ホイルガードの小ねじ２本（①と②）をゆるめます。

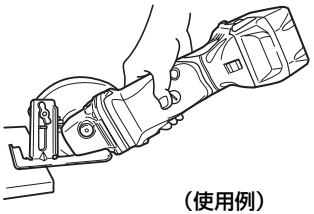
2 ガイドピースをホイルガードとセットプレートの間にはさみ込み、①小ねじを十分に締付けます。

3 ホイルガードの角度を作業に合った位置にセットし、②小ねじを十分に締付け、ホイルガードを固定します。

4 ちょうねじをゆるめて、切込み量を調整します。







（使用例）

●ダイヤモンドカッターの取付け

⚠警告

- ダイヤモンドカッターは当社指定の別売部品を使用してください。
- 使用前に、必ずダイヤモンドカッターにヒビ割れ、欠け、曲がりがないことを点検してください。
- 水や研削液などをかけて使用しないでください。
- 切削方向によっては反力があるので、機体を確実に保持してください。

⚠注意

トイシと同様に試運転を行って、異常がないことを確認してください。
(P19「⑥試運転を行う」参照)

注
- モーター故障の原因になるので、1回の切込み量は5㎜以下にしてください。
- 送り速さを加減しながら無理な力をかけないようにして使用してください。

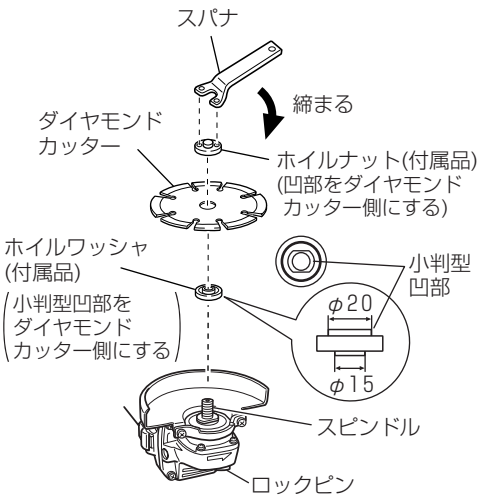
○ダイヤモンドカッターは乾式用をご使用ください。
○別売のガイドベースを取付けてご使用になると、切込み深さを一定にすることができます。(P 23「ガイドベースの取付け」参照)

注 **ホイルワッシャ、ホイルナットは付属のトイシ取付け用と同じ部品ですが、どちらも付属のトイシ取付け時と向きを逆にして使用します。**

1 スピンドルに、ホイルワッシャ、ダイヤモンドカッターの順に取付けます。

2 ダイヤモンドカッターの上から、ホイルナットの凹部をダイヤモンドカッター側にして、スピンドルに取付けます。

3 ロックピンを押してスピンドルを固定し、スパナでホイルナットを十分に締付けます。



参 考

- 付属のトイシ取付け用ホイルワッシャの代わりに別売部品としてダイヤモンドカッター専用にねじ式のホイルワッシャ(ダイヤ用)を用意してあります。より精度の高い加工をするときにお買い求めください。
- ホイルワッシャ(ダイヤ用)の取付けは、凸部(φ 20)をダイヤモンドカッター側にして、取付けます。

●切断トイシの取付け

○切断トイシは金属用と非金属用の 2 種類あります。
○鉄などの切断には金属用切断トイシをご使用ください。
○切断トイシをご使用になるときは、別売のホイルガード（切断トイシ用）、ホイルナット（切断用）を必ず取付けてご使用ください。
○別売のガイドベースを取付けてご使用になると、切込み深さを一定にすることができます。（P 23「ガイドベースの取付け」参照）

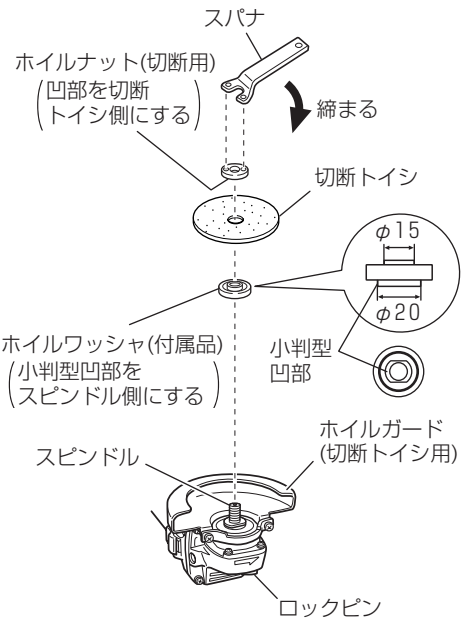
注 **付属のトイシ取付け用のホイルナットは使用しません。**

1 付属のホイルガードを小ねじをゆるめてはずし、ホイルガード（切断トイシ用）を取付けます。

2 スピンドルにホイルワッシャ（付属品）、切断トイシの順に取付けます。

3 切断トイシの上からホイルナット（切断用）の凹部を切断トイシ側にして、スピンドルに取付けます。

4 ロックピンを押してスピンドルを固定し、スパナでホイルナット(切断用)を十分に締付けます。



注
- **モーター故障の原因になるので、１回の切込み量は 5 ㎜以下にしてください。**
- **送り速さを加減しながら無理な力をかけないようにして使用してください。**
- **ホイルガード（切断トイシ用）は、切断作業時に発生する研削火花で高温になります。手など触れないようにご注意ください。**

●各種先端工具の取付け

先端工具	取付け方法
レジノイドフレキシブルトイシ ベベルワイヤブラシ（穴式） テーパ式多羽根ディスク（穴式） フェルトディスク サイザルディスク 多羽根ディスク（穴式）	付属のトイシ取付け用ホイルワッシャ、ホイルナットを使用し、付属のレジノイドフレキシブルトイシと同じ方法で取付けます。 （P14「トイシの取付け·取りはずし」参照）
カップワイヤブラシ（ねじ式） ベベルワイヤブラシ（ねじ式） サーフェーサー（ねじ式）	直接スピンドルにねじ込んでください。 付属のトイシ取付け用ホイルワッシャ、ホイルナットは使用しません。
ワイヤレスブラシ	付属のトイシ取付け用のホイルワッシャを使用（小判形凹部をワイヤブラシ側にする）し、直接スピンドルにねじ込んでください。 付属のホイルナットは使用しません。
多羽根ディスク （ワンタッチ式）（ねじ式）	付属のトイシ取付け用のホイルワッシャを使用（小判形凹部をスピンドル側にする）し、直接スピンドルにねじ込んでください。 付属のホイルナットは使用しません。

保守・点検

⚠警告

点検・手入れの際は、必ずスイッチをロックし、蓄電池を工具本体から抜いてください。
また、充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●トイシの取替え時期について

トイシの外径が 60 mmぐらいまでに摩耗しましたら、新品と取替えてください。

●モーター部の取扱について

モーター部（P9「各部の名称」参照）の巻線は工具本体の重要な部分です。
巻線にキズ、洗油および水をつけないよう十分に注意してください。

注 **ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。**
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

●お手入れする

工具本体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●取付ねじの点検

工具本体のねじがゆるんでいないか、点検してください。
ゆるんでいたら、締め直してください。

●作業後の保管

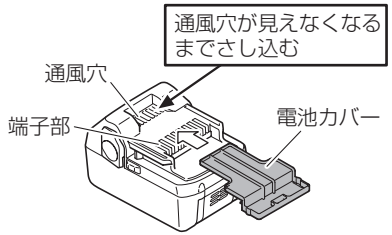
作業後は、温度が 50 ℃未満で、お子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。また、長期間（6 ヵ月以上）ご使用にならない場合は、蓄電池を長持ちさせるために、満充電にして保管することをおすすめします。

注
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
- 軒先など雨がかかったり、湿気のある場所には保管しない。
- 直射日光の当たる場所には保管しない。
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

⚠警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱、発煙、発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金などの線材を入れないでください。
- 短絡するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。

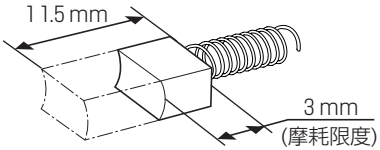


●カーボンブラシの点検

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しています。
カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度（3㎜ぐらい）になりましたら新品と交換してください。

また、カーボンブラシはごみなどを取除いてきれいにし、ブラシチューブ内で自由にすべるようにしてください。

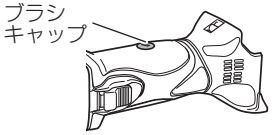
注 新品のカーボンブラシと交換の際は、日立カーボンブラシ（コードNo.999054）を使用してください。



●カーボンブラシの交換方法

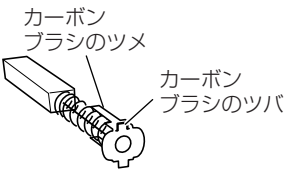
1 ブラシキャップをはずす

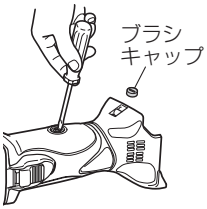
マイナスドライバーなどで反時計方向に回して取りはずします。



2 カーボンブラシを取り出す

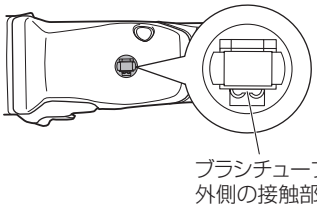
カーボンブラシのツバをマイナスドライバーなどで図のように引っかけて、取り出します。





3 新しいカーボンブラシを取付ける

図のようにカーボンブラシのツメをブラシチューブ外側の接触部と一致するように方向を定め、指で押し込みます。



注 **カーボンブラシのツメは、必ずブラシチューブ外側の接触部に挿入してください（ツメは 2 ヵ所あるうちのどちらでも良い）。**
間違えるとカーボンブラシのツメが変形し、モーターの早期故障の原因になります。

4 ブラシキャップを取付ける

ブラシキャップでカーボンブラシを押さえ込みながら、マイナスドライバーなどで時計方向に回して締付けます。

ご修理のときは

この製品は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自身で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。
ご不明のときは、下記の全国営業拠点にご相談ください。その他、部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

蓄電池はリサイクルへ

コードレス工具に使用の蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、最寄りの日立電動工具販売店にご持参ください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　月　日	製造番号(NO.)
販売店（TEL）	

全国営業拠点

■ 日立工機電動工具センターへのご用命は、下記の営業拠点にお問い合わせください。

北海道支店　TEL(011)271−4751(代)　〒060−0003 札幌市中央区北三条西4丁目1番地1(日本生命札幌ビル)
東北支店　TEL(022)288−8676(代)　〒984−0002 仙台市若林区卸町東3丁目3番36号
東京支店　TEL(03)5812−6331(代)　〒110−0016 台東区台東4丁目11番4号(三井住友銀行御徒町ビル)
中部支店　TEL(052)262−3811(代)　〒460−0008 名古屋市中区栄3丁目7番13号(コスモ栄ビル)
北陸支店　TEL(076)263−4311(代)　〒920−0058 金沢市示野中町1丁目163番
関西支店　TEL(06)4796−8451(代)　〒530−0001 大阪市北区梅田2丁目6番20号(スノークリスタル)
中国支店　TEL(082)228−0537(代)　〒730−0011 広島市中区基町11番13号(第一生命ビル)
四国支店　TEL(087)863−6761(代)　〒760−0078 高松市今里町1丁目28番14号
九州支店　TEL(092)621−5772(代)　〒813−0062 福岡市東区松島4丁目8番5号

「電動工具お客様相談センター」　0120 - 208822（フリーダイヤル・無料）
※携帯電話からはご利用になれません。　（土・日・祝日を除く 午前9：00 ～ 午後5：00）
電動工具ホームページ──http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

日立工機株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)
国内営業本部　TEL（03）5783 - 0626（代）

808
部品コード　C99176001